



マイクロナノ MICRONANO

2010
10

CONTENTS

- トピック／1
- 財団法人 マイクロマシンセンター
事業の動き／2
- 技術研究組合BEANS研究所
事業の動き／5
- その他／8

財団法人 マイクロマシンセンター
http://www.mmc.or.jp/

技術研究組合BEANS研究所
http://www.beanspj.org/lab/

No.73

トピック

マイクロナノ2010 大健闘、拡大基調に復帰

2010年7月28日～30日 東京ビッグサイト 東5・6ホール
 第21回マイクロマシン/MEMS展 ROBOTECH 次世代ロボット製造技術展
 【同時開催プログラム】第16回国際シンポ、TIA-NMEMSシンポ等
 (同時開催：SURTECH2010 表面技術総合展)



総合イベント マイクロナノ2010を7月28日～30日、東京ビッグサイトにて開催しました。来場者は3日間合計で14,000名を超え(昨年比15%増)、出展小間数も約10%増の349となり、まだまだ厳しい経済環境下、昨年の落ち込みから回復、大変健闘したとも言えます。

今回は、サービスロボットの製造技術に焦点を当てたROBOTECHを新規に併設展示会としました。多くのマスメディアからも注目され、有望なMEMSアプリケーション分野として、サービスロボットの現実性をアピールすることができました。

第16回となる国際シンポでは、グリーンイノベーションとMEMS技術の関わりをテーマとし、また、TIA-NMEMSシンポと題して、つくばにおける拠点形成、および、そのためのMEMS協議会活動を紹介しました。2年が経過し、中間評価を迎えるBEANSプロジェクトはセミナーとして、その展望、成果の紹介をしました。いずれも多くの聴講者に参加いただき、総合イベントとしてOne Stopで関連情報や商談の機会を提供することができました。

来年は、若干時期を早め、7月13日～15日の開催予定です。多くの皆様の出展、ご来場をよろしくお願いたします。

TIA-NMEMSシンポジウム

つくばナノテク拠点の実現を目指す活動の一端を紹介する「TIA-NMEMSシンポジウム」を、同時開催プログラムのひとつとして、7月30日、特設会場にて開催しました。

つくばナノテク拠点の6つのコア領域の一つでMEMS分野のR&D拠点となる、つくばイノベーションアリーナNMEMS(TIA-NMEMS)は、日本のMEMS産業が今後、国際的な産業競争力を強化するために重要な役割を果たすことを期待されています。



聴講者数は、展示会開場から30分という時間帯にも関わらず、210席の会場が満席という状態でした。松下経産副大臣や野間口産総研理事長など、すべてが責任ある立場からの講演であり、注目度が高かったと想像されます。産総研 野間口理事長の講演(写真上)では、類似の海外研究機関との差別化という観点から、IPに関する仕組みの充実に取り組んでいることが紹介されました。そのほかの企業からの講演では、実際に進行しているR&Dプロジェクトがどのように自社の競争力強化と関連するか、大いなる期待が述べられました。

ROBOTECH

サービスロボットを日常生活に広く導入し、少子高齢化、労働人口の減少に対処することは先進各国における緊急の課題です。ROBOTECHはその実現にキーとなるMEMSデバイス等を集めて、有望なMEMSアプリケーションとしてアピールすることを狙いとしました。(写真は松下経産副大臣)

大学関係や大阪、神奈川を始めとするロボット関係企業からデモゾーンにて実際にロボットの動作や機能を紹介し、多くの注目を集めていました。



来年のマイクロナノ2011は、
2011年7月13日(水)～15日(金) 東京ビッグサイト 東ホール